インターン生特別企画

高校生が「18歳成人」について考える

～来春から成人年齢が変わる!?～

高校生と作ったページ

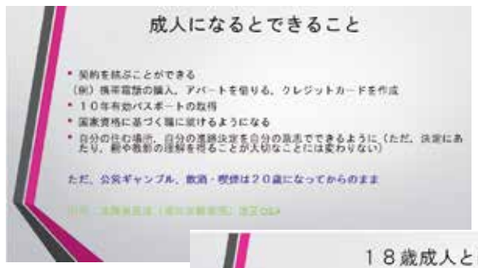
2022年4月1日から成人年齢を18歳に引き下げる「民法の一部を改正する法律」が施行され、成人年齢が18歳以上へと変わります。そこで高校生3人に「18歳成人」についてインタビューし、考えてもらいました。

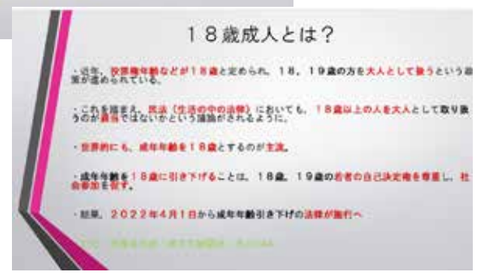
Q「18歳成人」って?

A 「18歳成人」とは、2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、18歳以上の若者が成人として扱われることです。世界的には成人年齢を18歳とするのが主流で、これを踏まえた結果、日本の民法(生活のルールを規定する法律)においても、18歳以上の若者を成人として取り扱うのが適当ではないかという議論がされるようになりました。近年、選挙権年齢などが18歳と定められ、18歳以上を成人として扱うという法整備が進められています。そして、来年4月1日から成人年齢引き下げの法律が施行される運びになりました。

Q成人になるとできることって何があるの?

A 成人になると自己決定権が尊重されるようになり、社会参加が促されるようになるため、クレジットカードや、携帯電話など色々な契約を結ぶ、10年間有効のパスポートを取得する、国家資格に基づく職に就くなどができるようになります。ただし、飲酒・喫煙、公営ギャンブルは20歳以上にならないとできません。



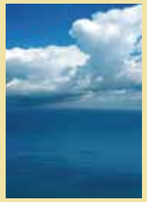


Qメリットとデメリットって何があるの?

A メリットは、民事裁判を法廷代理人抜きでできることと、色々な契約を結ぶことができることがメリットとしてあげられます。

デメリットは、例えば契約に関することで、若者の消費者被害が拡大する恐れがあるというのと、未成年者取消権という保護者が契約を白紙に戻せる権利を行使できなくなるというのがあります。契約以外でも、親権対象の年齢が引き下がることにより自立に困窮した若者が親の保護を受けられなくなることなどがデメリットとしてあげられます。

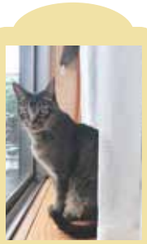
来年度から18歳成人にあたる、高校3年生の3人に消費者被害拡大防止のためにやるべきこと、成人になるにあたって心がけたいことを聞いてみました!



M.A.さん

学校で消費者被害防止のための講演会を開くのがいいと思います。私の高校では夏休み前に警察の方が来られてこのような講演会を開いてくださいました。実例を基に制作されたドラマを見ました。ドラマを見て自分だったらどうするだとか考えることができました。また、このような教え方だと内容がはいってきやすいと思うので、映像作品を用いるのが良いと思いました。あとは学校でこのような授業を課すのがいいと思います。私は選択授業で政治経済を選択しており、消費者被害についてのことを学びました。しかし、違う選択科目を選んでしまうと、消費者被害について学ばないまま高校を卒業してしまいます。なので、必修授業のようにして取り上げた方がいいと思います。

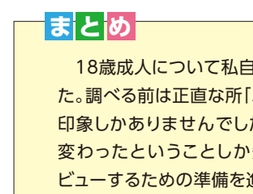
成人になるにあたり、大人って何だろうというのを考えていきたいです。色々な経験を積んでいったら大人になると思うし、考える上でも大事なので色んなことに参加して経験を積んでいきたいと思います。

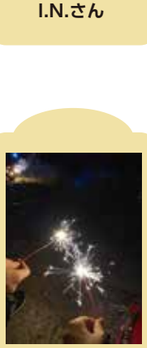


I.N.さん

すぐにお金が手に入ると思わないようにして、そういうのがあっても絶対のらないようにするとか、何かやってみませんかと誘われた時に自分一人で決めずに、親しい人や家族じゃなくてもいいですが、相談してからにするとか、ある程度学校とかでそういうのを教えてほしいと思います。

心がけたいこととして、行動に自覚を持ちたいです。自分は今後もまだ実家暮らしになるとは思いますけど、外に出ると18歳以上であれば成人という扱いになります。一人の成人として行動に責任を持ちたいです。実家暮らしでも、親のお金だからといって無駄遣いしたり、いっぱいものを買ったりするのではなく、いずれ一人暮らしをすると思うので、一人暮らしをしていると思って家の家計を考えながら生活したいです。





Y.S.くん

教育の場で、消費者被害のようなことを授業であまり扱っていないのが課題としてあると思います。学校でこのようなことができない場合は成人式などの案内と一緒に、消費者被害に遭わないためのセミナーを開催してみてはと思います。

気をつけないといけないこととして消費者被害だとかそういったこともありますけど、何歳になったとしても気をつけなあかんことは気をつけなあかんなっていう感覚があります。それが5歳でも、10歳でも、80歳でも気をつけなあかんことは一緒だと思います。

幼稚園や小学校に行っていても、家から外に出ている限り社会に関わりは絶対していると思います。気をつけないといけないことは一緒っていうのはありますし、成人したらそういう大切なことが増えるだけで、やらないといけないことは一緒なのだと思います。

まとめ

18歳成人について私自身詳しいことはあまり知りませんでした。調べる前は正直な所「ふーん。そうなんだ」っていうくらいの印象しかありませんでした。強いて言うなら、選挙権の年齢が変わったということしか知りませんでした。高校生にインタビューするための準備を進めていくにつれ、18歳成人について知ることができたと思います。どういう問題があるのかとか、どういうことが起こると予想されるだとか、高校生の皆さんに伝わるように努め、広報誌の文面を作成しました。

来年度から18歳成人に該当する高校生3人にインタビューすると、それぞれ異なる考えを持っていて色々な意見などを聞くことができ、このような見方・考え方があったのかと私自身すごく驚かされましたし、価値観や視野が広がったように感じました。インタビューに応じていただいた高校生お三方ご協力ありがとうございました!

この高校生ページが、皆さんに今起こっていること、これから起こることについて目を向けるきっかけに少しでもなってくれれば、嬉しく思います。

(インターン　田代)